

「タイニン省 2 桁成長を実現する原動力とは？」動画の日本語訳

約 500 m² の工場からスタートしたこちらの日系製造企業は、ロンハウ工業団地（タイニン省）へ進出してから 14 年間で、工場面積を 5,000 m² 以上へと拡大し、創業当初の約 10 倍の規模に成長しました。最新の設備を導入することで、高品質なや自動化設備を製造し、ベトナム国内市場だけでなく海外市場にも供給しています。

同社によると、インフラ整備の充実に加え、企業の成長を支えている最大の要因は地方政府による手厚い支援です。行政は企業が抱える課題の解決や各種法的手続きのサポート、高度人材の確保などを積極的に支援しており、これらが企業にとって安心して長期投資を行える重要な要素となっています。

「私たちは、この地域で計画的に整備されたインフラと、環境保護と両立した工業発展の方針を高く評価しています。また、戦略的な立地にあるため、南部重点経済圏とのアクセスにも優れ、柔軟かつ安定したサプライチェーンを構築することができます。そのため、当社の長期的な事業戦略に最も適した地域であると確信しています。」

「韓国企業にとっても、インフラ整備への積極的な投資と、外国直接投資（FDI）の誘致に向けた柔軟で前向きな姿勢が大きな信頼につながっています。さらに、行政機関の迅速かつプロフェッショナルな対応、そして企業の課題解決に真摯に取り組む姿勢によって、信頼できるビジネス環境が形成され、企業は安心して事業運営と成長に専念することができています。」

近年では、工業団地の整備もさらに進み、最新設備を備えたレンタル工場や利便性の高い交通インフラが整ったことで、タイニン省は多くの外国企業にとって魅力的な投資先となっています。また、豊富な工業用地と行政手続き改革の進展により、地域の投資魅力はさらに高まっています。

「ロンハウ株式会社（Long Hau Corporation）では、2026 年上半期だけで 24 件の新規投資案件を誘致しました。そのうち 12 件が FDI 案件であり、投資国も 10 か国に及びます。ドイツ、フランスをはじめとする欧州諸国のほか、アメリカ、カナダ、韓国、日本など多様な国々から投資を受けています。これは、ロンハウ株式会社が過去 20 年間で上半期として最も多く誘致した実績となりました。この結果は、海外投資家が依然としてベトナムの投資環境に高い関心を寄せていることを示しています。また、残りの 12 件は国内投資案件であり、多くの製造企業が、安全で持続可能な生産環境を求めて工業団地への進出を優先していることの表れでもあります。」

2026 年上半期、タイニン省は新規および追加投資を合わせて 22 億 6,700 万米ドルを超える FDI を誘致し、全国トップクラスの実績を記録しました。この投資は経済成長の原動力となるだけでなく、生産能力の拡大、雇用創出、輸出競争力の向上にも大きく貢献しています。

さらに、成長を支えているのは FDI だけではありません。工業生産は引き続き拡大し、商業・サービス・輸出入も安定した成長を維持しています。特に、公共投資の実行額は 15 兆ドンを超え、首相計画の 48.29% を達成し、全国第 3 位となりました。この公共投資は、地域経済への波及効果を生み出し、さらなる民間投資や新たな成長機会を創出する重要な原動力となっています。

「私たちは、これまで培ってきた強みを生かしながら、引き続き行政手続きの改革を進め、不必要な手続きを削減し、処理時間を短縮するとともに、企業のコスト削減を図ります。また、課題やボトルネックを迅速に解消し、企業が安心して投資・生産・事業活動を行える、開かれた魅力ある投資環境を整備していきます。」

2026 年に 2 桁成長を目標とするタイニン省は、投資環境の改善、インフラ整備、公共投資の迅速な執行を通じて、長期的な成長基盤の強化を進めています。これまでの成長要因をさらに活用するとともに、新たな成長分野を開拓することで、タイニン省は南部経済圏における新たな成長拠点としての地位を着実に確立しつつあります。